



2026 鈴鹿選手権シリーズ カートレース 第3戦
2026 SUZUKA KARTING CHAMPIONSHIP ROUND3
KART RACE IN SUZUKA
IN SUZUKA CIRCUIT SOUTH COURSE

大会事務局
2026/8/15-16

ブリーフィング資料

1. 競技全般

- 1) スタートラインは、コントロールライン先 1 コーナー側のチェッカーマークのライン位置とする。
- 2) フィニッシュラインは、タワー前のコントロールライン上とする。
- 3) 走行中は規則書を厳守し、違反した場合にはペナルティの対象になります。規則書内のペナルティを十分理解の上、競技に参加すること。**第2戦のペナルティ 3 1件（内訳：フェアリング 1 4件 失格 7件 コリドー 3件 etc.）**
- 4) 競技中に赤旗が提示された場合は、オフィシャルの指示に従い停止すること。
- 5) 各ヒート走行中、停止したドライバーは他の走行車両を妨害することなく、車両を安全な位置に移動すること。
また、状況によりオフィシャルの指示又は補助により退避させる場合がある。
- 6) バドックでのエンジン始動は、指定された時間・エリアでのみ認める。 ※公式通知 No. 3 に基づく
- 7) 各ヒート走行前にリタイヤする場合、所定リタイヤ届にエントラント・ドライバーの署名を行い、大会事務局へ提出する。
- 8) **カデットオープンクラスは停止した際、降車をして動かす事は出来ない。ドライバー乗車中の場合のみ復帰可能とする。**
カートから降りた時点や、オフィシャルが触れた場合リタイヤとなり再スタートすることはできない。
- 9) **各ヒート終了後重量計測前に、容量 600ml 以下の飲料を摂取することを認める。ただし、体にかける(浴びる)行為は禁止とする。**
メカニックは 600ml 以下のペットボトル 1 本であることを車検員から確認を受け持ち込むこと。
車検員の確認を受けず渡した場合はペナルティを課す場合がある。計測後に再度飲料を摂取しての再重量計測は認められない。

2. 公式練習・公式予選（タイムトライアル）

- 1) レースで使用するタイヤは、公式予選出走までにタイヤ両側にゼッケン番号を記入すること。記入の無い場合は、ペナルティを課す場合がある。
- 2) 公式練習(5 分間)、公式予選(5 分間)を連続して行う。なお、公式予選中にピットインしたカートは、再コースインは出来ない。
- 3) マシントラブル等により公式練習もしくは公式予選に出走できないと判断した場合、それぞれの時間内に競技団に必ず申告しなければならない。
- 4) ROK-SHIFTER クラスは公式予選チェッカー後、2 コーナー立ち上がり左側で 1 回のみスタート練習が認められる。
※第 25 条（12 頁）公式予選に基づく

3. 予選・決勝ヒート

- 1) フォーメーションラップ
 - 〈1〉 予選ヒート・決勝ヒート前にフォーメーションラップを 2 周行う。ダミーグリッドからのコースインラップを 1 周目とし、各クラス 2 周目でレースをスタートする。
※ROK-SHIFTER クラスはダミーグリッド(ホームストレート)整列後、2 周フォーメーションラップを行う。
 - 〈2〉 フォーメーションラップ中の追い越し、隊列復帰禁止区間は、2 周目の最終コーナー手前レッドラインからスタートラインまでとする。
フォーメーションラップ中の隊列復帰禁止区間での追い越し及び割り込み違反にはペナルティを課す。
 - 〈3〉 フォーメーションラップ中、フロントローのドライバーは後続のドライバーが追いつけないようなスピードでの走行や、極端な低速走行を禁止する。
 - 〈4〉 フォーメーションラップ中に隊列から大きく遅れたと判断されたドライバーには、白地に赤の×印のボードが掲示される。
そのボードが掲示されたドライバーおよびフォーメーションラップ中にピットインしたドライバー及び周回遅れのドライバーは、隊列の最後尾につかなければならない。
 - 〈5〉 スタートにおいてポール及びセカンドドライバーが不適切な行為においてスタートできない場合、警告旗と共にポールが原因の場合は『P』、セカンドが原因の場合は『S』のボードが提示されペナルティの対象となる。
 - 〈6〉 ダミーグリッドからのスタートはフォーメーションラップの先頭車両がレッドラインにきた時はスタートできない。
また、ヒートがスタートした場合は、その時点でヒートに参加できない。



SUZUKA CIRCUIT

2)スタート

- 〈1〉スタート合図は赤 8 灯、オレンジ 2 灯の信号機とホームストレート延長線上にあるオレンジ 2 灯の信号機を使用する。
- 〈2〉フォーメーションラップの隊列は、2 列で幅 2 メートルのレーン（コリドー）内を走行しなければならない。
- 〈3〉フォーメーションラップの終了時、ドライバーはカートを 2 列に並べ、一定の速度を保ち、スタートラインへ向かう。
ボールポジションのカートがイエローラインとスタートラインの間で加速を開始したと公式スターターが判断したら、赤信号を消灯しスタートする。ただし、イエローラインまでの加速は禁止とする。※赤信号（8 灯）が消灯した時点で<2>を含め、この規制は解除される。
- 〈4〉フォーメーションラップで隊列が整っていない場合、オレンジ信号（2 灯）が点灯され、ローリングラップをさらに 1 周行う。
特にフォーメーションラップをコントロールするポールシッター及びセカンドポジションのドライバーは、上記内容を十分理解し、隊列を安全に先導する義務がある。
- 〈5〉フォーメーションラップ中ヒーティングについて、2 周目のレッドラインを越えてからのヒーティングは禁止する。
- 〈6〉**ROK-SHIFTER** クラスはスターティンググリッドからスタートする際、スタートができない場合はすぐに手を大きく挙げて周囲のカートに合図を行う事。スタートデレイは、2 回までとし、3 回目でスタートができない車両はコース外へ排除されスタートされる。（第 30 条 ROK-SHIFTER クラス スタート手順を確認のこと）
- 〈7〉**ROK-SHIFTER** クラスはスターティンググリッド整列時、自身のカートの両方のフロントタイヤが白線に接触した状態でスタートしなければならない。出た状態でスタートした場合は、不正スタート(フライング)とみなしペナルティの対象となる。

3)レース

- 〈1〉5 番ポストおよび 8 番ポストでのアクシデントに関しては 1 つ手前のポスト
(5 番ポストなら 3 番ポスト、8 番ポストなら 7 番ポスト)でイエローフラッグを提示する場合がある。
- 4) 車検：**全クラス『CIK-FIA フロントフェアリング取付規定を適用』とする。**
レース終了後の重量車検前に車検員によってフロントフェアリングの正確な位置の確認を受けなければならない。
この時、ドライバーはオフィシャルの指示があるまでカート上で待機しなければならない。

4. 競技マナーの遵守事項

- 1) フェアプレイに徹し、レース期間中怪我の無いよう努めて、日頃の実力を十分に発揮してください。
- 2) スムーズなレース進行のため、オンタイムでの進行に心がけ、ご協力下さい。また、走行後のストップ車両を回収の際、ドライバーやチームサービス(メカニック)の皆様はレッカー車への車両積込、カートスタンドでの回収作業にご協力下さい。
- 3) ピット・パドック内での喫煙ならびに火気の使用及び高温を発する作業は一切禁止します。
喫煙については、指定エリアで行ってください。違反した場合には、ペナルティを課す場合があります。
喫煙・火気の取り扱いの安全状況を確認するために、パドックを巡回します。
- 4) 表彰式の際、当該ドライバーはレーシングスーツを着用して下さい。
- 5) ピット・パドックの清掃を心がけ、ゴミは分別の上、ゴミ集積所に集めて下さい。
- 6) レース終了後はテント固定用のペグ・杭等は、必ず撤去して下さい。
- 7) 第 2 戦より、エンジン始動確認エリアを設けております。公式通知 No. 3に基づいて運用いたします。
- 8) パドック裏の通路、通路脇への駐車は、緊急車両が通行をしますので駐車はご遠慮ください。
駐車場を利用する際は枠内に駐車をしてください。
- 9) レース終了後のトランスポーター移動について通路に止めての積み降ろしは禁止いたします。
- 10) サーキット内において暴力、暴言、威圧的な行為などされた場合は厳しく対処させていただきます。
なお、ドライバーや関係者はもとより、全ての行為をされた方が対象となりますのでご注意願います。